



第43回全国高等学校総合文化祭 2019さが総文

大会テーマ **創造のつぎをいかにつなぐ**

委員長
さとう ゆづき
佐藤 雄貴さん
(佐賀清和高校2年)

副委員長
なかむら れな
中村 怜奈さん
(武雄高校2年)

副委員長
やました あつこ
山下 敦子さん
(佐賀北高校2年)



プレ総合開会式

2018年10月14日、約200人の生徒が構成劇や演奏などで思いを込めたステージをつくり上げ、本大会の成功を誓ったプレ大会。全23部門の代表生徒たちが力強く宣誓しました。



当日は940名のお客様がいらっしゃいました!

8月にはパレードも行いました!

みんなで考えた おもてなし弁当

大会期間中に参加者のための「おもてなし弁当」のメニューも高校生が企画。

佐賀ならではの特産物を使ったアイデアレシピ!



特集

維新博の「志」を未来へつなぐ
高校生が創る文化・芸術活動の祭典

2019さが総文

開催期間 2019年7月27日(土) > 8月1日(木)

第43回全国高等学校総合文化祭、通称「2019さが総文」。大会を成功させるために奮闘する生徒実行委員の3人にさが総文への想いを伺いました。

マスコットキャラクターなどすべて県内中高生の公募から選ばれました。実行委員総勢80人で準備を進めています。



1月14日維新博「志」を引継ぎました!

詳しくはさが総文 検索



佐藤…全国高等学校総合文化祭とは、分かりやすくいうと全国の高校生による文化・芸術活動の祭典です。美術や合唱、演劇、書道など、さまざまな部門があり、全国から高い技術をもった高校生が佐賀に集まります。

中村…その中で私たち生徒実行委員は大会のPR活動や、来場者のおもてなしなどを考えています。

山下…総合開会式では、海外の高校生の演目や、さが総文からのメッセージを込めた構成劇も披露します。来ていただいた方に、感動してもらえそうな演出を考えています。

中村…総文祭は都道府県の持ち回りで毎年開催されており、佐賀県での開催は初めて。県外から訪れる方も多いため、佐賀でしか味わえない風景・歴史・食・文化など、佐賀の高校生から見た魅力を高校生のやり方で伝えたいですね。

山下…さが総文を訪れた人に「佐賀っていいな」と感じてほしいし、その後は「自分も何かやってみたい」と思ってもらえるようなものになりたいです。

中村…各市町のお祭りやイベントで、さが総文のPR活動をしているとき、県民のみなさんから「必ず行くよ」などと声をかけてもらえるのが本当によいです。

佐藤…生徒実行委員の活動では、ふだんの高校生活では、なかなか経験できないことができます。何かひとつを決めるときにも、みんなで真剣に話し合ったり。

山下…佐藤君と中村さんは一度意見がぶつかって、お互い譲らなかつたよね。でも、あの激論があつたからこそ、みんなが納得できる企画になったと思います。

佐藤…衝突しながら進む議論のほうが密度が高くなると気づきました。僕は将来、佐賀で起業したいという夢があります。みんなの話を聞いて、まとめていく経験は、将来きっと役に立つと思います。後輩達にも衝突を恐れなくてほしいです。

中村…私が実行委員で学んだのは「挑戦すること」と「続けること」の大切さです。挑戦を恐れないことで自分に得るものがあると後輩にも伝えたいです。そして続けていくことで仲間との絆が生まれました。次の開催県になる高知県の高校生とも連絡を取り合っているんですよ。

山下…さが総文の本番が終わった後に「やってよかった」と笑い合えるように頑張りたいですね。全国の高校生一人ひとりが今まで頑張ってきたことを発揮できるような大会にしたいです。

中村…「佐賀で開催された総文祭はすごかった」と後々まで語り継がれるように、高校生だけでなく佐賀県全体でつくりあげた伝説の大会を目指します!

佐藤…これから本番に向けてPRイベントなども各地で開催します。競技をする人はもちろん、運営に携わる私たちも踏まえて、佐賀の高校生の想いがたくさんつまった「さが総文」を、ぜひ見に来てください!

※座談会は、県庁の誰でも使えるオープンスペースSAGA CHIKA(地下1F)で行いました



全23部門を
写真で紹介

競技や発表は県内各市町で行われます!